

# ボランティア通信

令和6年11月22日 日吉小・中学校区地域学校協働本部発行

## ◆ 井谷正命・正吉親子 ◆

9月26日(木)に、小学5・6年生と中学1・2年生が「井谷正命・正吉親子」についての郷土学を実施しました。中学1・2年生は、小学生時に既に学んでいましたが、今年の3月に井谷親子の漫画を寄贈されたことを受けて、更に学習を深めることになりました。

鬼北町役場企画振興課の職員の方に、井谷親子と関連のある場所への案内と解説をしていただきました。日吉村初代村長である正命氏が、道路建設や私立の実業学校の設立に尽力されたことや、息子の正吉氏が、明星ヶ丘で四国最初のメーデーを行い、農民や労働者の解放運動に熱心に動かれたことを、お話ししていただきました。その功績を認められ、正吉氏は後に「日吉村名誉村民」として認定されています。

最後の感想発表では、「小学生の時は、理解できなかったところもありましたが、中学生になった今では、よく理解することができて良かったです。」と述べた生徒がいました。繰り返し学ぶことで理解を深めることができるのも、小中一貫教育の強みです。

私財を投げ打って、日吉村の発展・繁栄のために生涯を捧げた2人の生きざまは、児童生徒たちに大きな影響を与えたと思います。同時に、自分たちの地域には、後世に語り継がれる偉人がいることに感銘を受けたのではないかと思います。



## ◆ 森林教室 ◆

9月26日(木)に、小学3・4年生が「森林教室」を実施しました。(株)日吉農林公社の職員の方の案内で、(株)日吉原木市場が主催されている「木材の入札」を見学しました。

会場に着くと、多くの丸太が積み上げられていました。場内には、木材を売ったり買い付けたり、どのような木材が買い求められているのかを調査したりする方々がいて、活気にあふれていました。

丸太の価格は、材積や曲がり具合などで計算されていて、節が付いていない丸太ほど高値で売れることを教えていただきました。また、ヒノキの買い取られた値段を聞いて、児童たちは驚きの声を上げていました。

その後、(株)日吉原木市場の方々の御厚意で、児童たちにも入札体験を一とおりさせていただきました。この体験が楽しかったらしく、もう1回体験したいと希望した児童もいました。

今回の「森林教室」では、多くの方々の御協力・御支援をいただき、心よりお礼申し上げます。



## ◆ みつばちマイスター ◆

10月24日(木)に、小学1・2年生が上鍵山にある養蜂場を見学しました。場長である養蜂家の方は、絶滅が危惧されている「ニホンミツバチ」を20年ほど前から飼育されていて、試行錯誤を繰り返しながら、日々研究を重ねていらっしゃいます。来年は、450匹ほどのニホンミツバチを飼育するのが目標だそうです。当日は、御紹介いただいた方にも御協力いただきました。「ミツバチがいなくなったら、私たちが食べている野菜や果物への受粉がされなくなるので、3年後には人類が減びると言われています。」とお話がありました。

その後、採蜜作業の工程を見せていただき、養蜂家の方の自宅へ移動しました。御厚意で、ハチミツをかけたホットケーキの試食をさせていただき、不純物の入っていない天然のハチミツのおいしさに、児童たちは感激していました。

ニホンミツバチから採れるハチミツのおいしさだけでなく、ミツバチの存在が、私たちの生活に密接に関わっていることも学んだ郷土学になりました。

